

筑波技術大学保健科学部附属東西学統合医療センター活動報告

・組織（2009年3月現在）

専任職員

センター長 教授	青柳 一正（漢方,内科）
教授	平山 暁（内科）
准教授	津嘉山 洋（鍼灸）
助教	近藤 宏（鍼灸）
看護部	菊池 典子（師長）
	根本 由紀子
薬剤部	金子 鶴子
臨床検査部	木村 里美
放射線部	水木 知恵
統合医療センター係	松山 進（係長）
	井坂京子（主任）

併任職員

保健科学部保健学科鍼灸専攻

教授	柴崎 正修（小児科）
教授	大越 教夫（神経内科）
教授	形井 秀一（鍼灸）
教授	森山 朝正（鍼灸）
教授	野口栄太郎（鍼灸）
教授	森 英俊（鍼灸）
教授	和久田哲司（鍼灸）
准教授	佐々木 健（鍼灸）
准教授	藤井 亮輔（鍼灸）
助教	木村 友昭（鍼灸）
助教	殿山 希（鍼灸）
技術職員	市川あゆみ（鍼灸）

保健科学部保健学科理学療法専攻

教授	木下 裕光（整形外科）
教授	吉田 次男（放射線科）

非常勤職員

看護部	益子 詩織
臨床検査部	古澤 敏子
	望月 雅子

附属診療所研修生 18名

・概要

開設後 17年を経過し、漢方・鍼灸・西洋医学を統合した新しい医療というコンセプトを模索している。平成 17年度秋から、四年制の筑波技術大学保健科学部附属のセンターとして活動を継続している。

地域への医療サービスの提供とともに、鍼灸学科学生の臨床実習の場として機能している。また、鍼灸師の卒後臨床研修を行う制度として、平成 5年度から研修生の制度が発足している。その他、

日本東洋医学会の専門医のための研修施設として医師の研修を受け入れている。

今後はより良い医療サービスの提供と充実した教育・研究活動のために、ソフト面を充実することが課題となっている。

また、臨床・研究活動の他に保健学科鍼灸専攻との共同企画で公開講座を実施している。

- 1) 「家庭でできる鍼灸・手技療法」：一般市民を対象に講義と実習を含めて行った。
- 2) 「鍼灸・手技の臨床実技講座」：鍼灸師を対象に実技を中心に行った。
- 3) 「医師のための鍼灸実践講座」：医師を対象に講義と実技を含めて行った。

・研究業績（主に専任教員のもの）

著書

- 1) 青柳一正、菱田明編集 腎とフリーラジカル 第9集 東京医学社：1-229.2008.
(ISBN 978-88563-182-5C3047)
- 2) 平山 暁 巻頭言 暗闇で黒猫を探す 腎と透析 64(3):301-302.2008.

原著

- 1) Hirakawa A, Aoyagi K, Nakajima M, Kikuchi S, Ohba S, Yamagata K. J Clin Biochem Nutr: Role of plasma protein and low-molecular weight substances in the change of hydroxyl radical scavenging activity in hemodialysis patients. 42(2):111-7. 2008
- 2) Hirayama A, Ueda A, Oteki T, Nagase S, Aoyagi K, Koyama A. In vivo imaging of renal redox status during azelnidpine treatments. Hypertension Resarch 31(8):1643-1650.2008.
- 3) Oteki T, Nagase S, Shimohata H, Hirayama A, Ueda A, Yokoyama H, Yoshimura T. Nitric oxide protection against adriamycin-induced tubulointerstitial injury. Free Radic Res. 42(2):154-61. 2008.
- 4) Yoh K, Hirayama A, Ishizaki K, Yamada A, Takeuchi M, Yamagishi S, Morito N, Nakano T, Ojima M, Shimohata H, Itoh K, Takahashi S, Yamamoto M. : Hyperglycemia induces oxidative and nitrosative stress and increases renal functional impairment in Nrf2-deficient mice. Genes to Cells (2008) 13, 1159-1170. (The first two authors

contributed to this work equally.)

- 5) Mamiya T, Katsuoka F, Hosoya T, Hirayama A, Kobayashi A, Maher J, Matsui H, Hyodo I, Yamamoto M: Hepatoprotective Role of Heme Oxygenase-1 in vivo in Basal and Oxidative Environments. *Tohoku Journal of Experimental Medicine* in press
- 6) Ogura A, Oowada S, Kon Y, Hirayama A, Yasui H, Meike S, Kobayashi S, Kuwabara M, Inanami O: Redox regulation in radiation-induced cytochrome c release from mitochondria of human lung carcinoma A549 cells. *Cancer Lett.* 2008 Dec 29. In press
- 7) 津嘉山 洋, 山下 仁: 鍼の臨床試験におけるデザインと報告に関する統一規格: STRICTA グループと IARF の推奨. in: 中山健夫, 津谷喜一郎 編著. 臨床研究と疫学研究のための国際ルール集. ライフサイエンス出版: 152-155. 2008.
- 8) Hitoshi Yamashita and Hiroshi Tsukayama. Safety of Acupuncture Practice in Japan: Patient Reactions, Therapist Negligence and Error Reduction Strategies. *Evid Based Complement Alternat Med.*:391-8. 2008
- 9) 津嘉山 洋: EBM と鍼灸 - EBM は元々問題指向型の臨床システムだったはずだが -. 鍼灸 OSAKA 2008 (24):197-202. 2008.
- 10) 山下 仁, 津嘉山 洋: 【いま、知っておきたい統合医療】 統合医療の普及状況. *Modern Physician*; (0913-7963)28(11):1584-1588. 2008.
- 11) 下山直人, 鈴木春子, 津嘉山洋, 花輪壽彦: 【緩和ケア これからの10年をみつめる】 研究プロジェクト がん疼痛に対する代替療法・支持療法. *緩和医療学* 10: 223-228. 2008.
- 12) 堀 紀子, 木村里美, 山下仁, 津嘉山洋, 原桃介: 鍼灸受療患者における HBs 抗原および HCV 抗体の陽性率 筑波技術大学東西医学統合医療センターにおけるスクリーニング検査. *東洋医学とペインクリニック* 37(3-4):70-77. 2008.
- 13) 近藤宏, 富安猛, 土屋仁志, 寺西昭, 久富雅之, 細沼修: 盲学校・視力障害センター・大学での按摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師養成課程における進路指導に関する実態調査. *理療教育研究* 30(1):25-37. 2008.
- 14) 近藤宏, 中川友裕, 菅原清美, 山本栄治, 乗松利幸: 視覚障害を有する鍼灸マッサージ師のヘルスキーパー育成のためのインターンシップ導入に関する検討. *理療教育研究*

30(1):39-50. 2008.

総説・解説

- 1) 青柳一正: 特集 CKD とレニン - アンジオテンシン - アルドステロン系 腎と肝, 脳: アンジオテンシンの話題. *腎と透析* 64(3):407-409. 2008.
- 2) 青柳一正, 平川暁子, 平山 暁: 特集 痛風・高尿酸血症のすべて尿酸と活性酸素. *腎と透析* 64(4)p466-468. 2008.
- 3) 青柳一正, 中島基雄: 特集 腎疾患の診療に役立つ新しい検査 尿中 ATP. *腎と透析* 65(4):499- 501, 2008.
- 4) 青柳一正, 森 正敬: 特集 1 腎の物質輸送と代謝 アルギニンとその関連物質の代謝. *腎と透析* 65(5):676-680. 2008.
- 5) 青柳一正: 編集後記 腎と透析 65(5)
- 6) 青柳一正: 漢方医学の現場から中国総合研究センター マンスリーレポート インターネット http://crds.jst.go.jp/CRC/monthlyreport/200810/toku_ao.html (2008.10.20. 発行)

学会発表・講演等

- 1) Hirayama A, Ueda A, Nagase S, Oteki T, Kotake Y, Owada S, Aoyagi K. Intracellular imbalance of nitric oxide and mitochondrial superoxide leakage during the hyperproteinuric phase of puromycin nephrosis. ERA-EDTA XLV Congress (European Renal Association-European Dialysis and Transplant Association) 2008.5 Stockholm
- 2) Hirayama A. In vivo Imaging and Therapy for Oxidative Stress. International Symposium on Atomic Technology for Biomaterials Science (ISATBMS-2008) 2008.6 Tsukuba
- 3) Hirayama A, Ueda A, Nagase S, Aoyagi K, Owada S. Application of in vivo EPR/EPR Imaging for Kidney Diseases. A Joint Conference of 13th In Vivo EPR Spectroscopy and Imaging and 10th International EPR Spin Trapping/Spin Labeling (EPR 2008) 2008.9 Fukuoka JSPS Core to Core Program 招聘講演
- 4) 青柳一正, 平山 暁, 中島基夫, 藤森 憲, 片山幸一 単離肝細胞におけるバルビツレートのハイドロキシルラジカル産生増加作用: メチルグアニジンでの検討. 第 61 回日本酸化ストレス学会学術集会 2008.6 京都

- 5) 青柳一正,平川暁子,平山 暁,中島基雄,藤森憲,片山幸一.尿毒症物質メチルグアニジンのフェノバルによる産生調節機構 第20回腎とフリーラジカル研究会 2008.9 大阪
- 6) 青柳一正,平山暁,中島基雄,藤森憲,片山幸一:浮遊肝細胞におけるフェノバルピツレートのハイドロキシルラジカル産生増加機構:クレアチニンのハイドロキシルラジカル産物を用いた研究 第29回グアニジンの化合物研究会,2008.10 岡山
- 7) 平山 暁,植田敦志,永瀬宗重,樗木隆聡,青柳一正,小山哲夫,大和田滋.ピューロマイシン腎症顕性蛋白尿期におけるミトコンドリア複合体変性 第51回日本腎臓学会総会 2008.5 福岡
- 8) 青柳一正,平川暁子,平山 暁,中島基雄,藤森憲,片山幸一.尿毒症物質メチルグアニジンのフェノバルによる産生調節機構 第20回腎とフリーラジカル研究会 2008.9 大阪
- 9) 平山 暁,植田敦志,永瀬宗重,青柳一正,中島基雄,藤森 憲,片山孝一,古武弥成,大和田滋 CYPMP0 を用いたピューロマイシン腎症における単離ミトコンドリアスーパーオキシドリーク検出 第61回日本酸化ストレス学会学術集会 2008.6 京都
- 10)平山 暁,長崎幸夫,吉富 徹,宮本大輔,間宮孝,松井裕史,藤森 憲,中島基雄,片山孝一,青柳一正. ナノ粒子化による pH 応答性安定型 TEMPO の合成と生体内動態 第20回 腎とフリーラジカル研究会 2008.9 大阪
- 11)平山 暁,植田敦志,青柳一正,古武弥成,稲波 修,大和田滋.ネフローゼ症候群顕性蛋白尿発症過程におけるミトコンドリア機能異常の ESR 解析 第47回電子スピンサイエンス学会年会(SEST2008) 2008.10 福岡
- 12)平山 暁,長崎幸夫,吉富 徹,宮本大輔,間宮孝,松井裕史,藤森 憲,中島基雄,片山孝一,青柳一正. ナノ粒子化による pH 応答性安定型 TEMPO の合成と生体内動態 第20回 腎とフリーラジカル研究会 2008.9 大阪
- 13)平山 暁,植田敦志,永瀬宗重,青柳一正,中島基雄,藤森 憲,片山孝一,古武弥成,大和田滋 CYPMP0 を用いたピューロマイシン腎症における単離ミトコンドリアスーパーオキシドリーク検出 第61回日本酸化ストレス学会学術集会 2008.6 京都
- 14)平山 暁,植田敦志,青柳一正,古武弥成,稲波 修,大和田滋.ネフローゼ症候群顕性蛋白尿発症過程におけるミトコンドリア機能異常の ESR 解析 第47回電子スピンサイエンス学会年会(SEST2008) 2008.10 福岡
- 15)大和田滋,前波輝彦,平山 暁,青柳一正,植田敦志,佐藤武夫,永瀬宗重.透析患者における各種活性酸素種の血清消去活性に関する検討 第20回腎とフリーラジカル研究会 2008.9 大阪
- 16)大和田滋,平山 暁,植田敦志,永瀬宗重,西島冬彦 経口吸着薬 AST-120 (K) の腎不全進展抑制と抗酸化効果 - 腎 SOD と血清・尿中酸化ストレスマーカーの変動 - 第61回日本酸化ストレス学会学術集会 2008.6 京都
- 17)大和田滋,前波輝彦,鈴木透理,植田敦志,平山 暁,永瀬宗重. 血液透析(HD)とCAPD患者の脂質代謝異常 第53回日本透析医学会学術集会・総会 2008.6 神戸
- 18)大和田滋,前波輝彦,平山 暁,青柳一正,植田敦志,佐藤武夫,永瀬宗重.透析患者における各種活性酸素種の血清消去活性に関する検討 第20回腎とフリーラジカル研究会 2008.9 大阪
- 19) 中島基夫,青柳一正,藤森憲,片山幸一: Methylguanidine (MG)分析方法の再検討,第29回グアニジンの化合物研究会 20月11日2008 岡山
- 20)鈴木透理,外山勝英,植田敦志,平山 暁,前波輝彦,大和田滋 慢性腎臓病(CKD)における血清脂質代謝異常 第51回日本腎臓学会総会 2008.5 福岡
- 21)Owada S, Hirayama A, Ueda A, Nagase S, Goto S, Nishijima F. Triglyceride rich lipoproteins contribute to the decline in renal function in experimental chronic renal failure (crf) rats and the oral adsorbent ast-120 (kremezin®) alters this process. ERA-EDTA XLV Congress (European Renal Association-European Dialysis and Transplant Association) 2008.5 Stockholm
- 22)小林博通,大和田滋,渡邊泰治,畑地慶三,平山 暁,上林将人,大坪毅人 肝虚血再灌流障害における選択的 Ca²⁺/CaM 阻害剤 CV159 の投与効果-E P R imaging を用いた組織還元能評価. 第61回日本酸化ストレス学会学術集会 2008.6 京都
- 23)長崎幸夫,吉富 徹,宮本大輔,間宮 孝,松井裕史,平山 暁. 安定な EPR 信号を有する pH 応答性コアシェル型ナノ粒子 (RNP) の設計と評価 第61回日本酸化ストレス学会学術集会 2008.6 京都 (優秀演題賞受賞演題)
- 24)小倉亜希,大和田滋,平山 暁,小出裕一郎,浦野泰照,長野哲雄,安井博宣,桑原幹典,稲

波 修. 放射線誘導アポトーシスにおけるミトコンドリアからのシトクロム c 遊離とそのレドックス制御 第 61 回日本酸化ストレス学会学術集会 2008.6 京都

- 25) 植田敦志, 森本まどか, 井上真理子, 斎藤知栄, 楊 景堯, 山縣 邦弘, 平山 暁. 短期腹膜休息による除水能の変化と NOx・酸化ストレス 第 53 回日本透析医学会学術集会・総会 2008.6 神戸
- 26) 松永恒明, 鈴木多恵, 金子洋子, 多留 賀功, 石津 隆, 轟 健, 斎藤 保, 山本祐二, 文 由美, 梅澤光政, 楊 景堯, 平山 暁. 回盲部腸間膜内血腫を呈した維持透析患者の一例 第 53 回日本透析医学会学術集会・総会 2008.6 神戸
- 27) 吉富 徹, 宮本大輔, 平山 暁, 松井裕史, 間宮 孝, 長崎幸夫. 安定ラジカル含有コアシェル型ナノ粒子の設計と評価 第 24 回日本 DDS 学会 2008.6 東京
- 28) 吉富 徹, 宮本大輔, 間宮 孝, 松井裕史, 平山 暁, 長崎幸夫. 生体内 ESR イメージングを目指した TEMPO 内包コアシェル型ナノ粒子の設計 日本バイオマテリアル学会シンポジウム 2008.11 東京
- 29) 木村友昭, 木村里美, 津嘉山洋. 体性感覚誘発電位皮質早期成分に鍼刺激が及ぼす影響について 鍼刺激の主観的感覚と皮質信号との関連. 第 73 回日本温泉気候物理医学会総会. 2008.5 宮城
- 30) 倉澤智子, 増山祥子, 山下仁, 津嘉山洋. 慢性疼痛に対する鍼の臨床試験のメタアナリシス. 第 57 回(社)全日本鍼灸学会学術大会 京都大会. 2008.6 京都
- 31) 津嘉山洋, 増山祥子, 倉澤智子, 山下仁. 医療システムにおける鍼灸師 医師を対象としたインターネット調査. 第 57 回(社)全日本鍼灸学会学術大会 京都大会. 2008.6 京都
- 32) 近藤宏, 櫻庭陽, 泉重樹, 池宗佐知子, 市川あゆみ, 小堀孝浩, 堀紀子, 中野智子, 花岡裕吉, 藤田優子, 森山朝正. テニス選手の合宿中におけるコンディショニングに対する意識調査 M テスト(経絡テスト)の有用性について. 第 6 回 臨床スポーツ鍼灸研究会. 2008.3 東京
- 33) 櫻庭陽, 泉重樹, 近藤宏, 池宗佐知子, 市川あゆみ, 小堀孝浩, 堀紀子, 中野智子, 花岡裕吉, 藤田優子, 沢崎健太, 森山朝正. スポーツにおける M-test の有用性に関する検討 -合宿で疲労した大学硬式テニス選手を対象に-. 第 6 回 臨床スポーツ鍼灸研究会. 2008.3 東京
- 34) 近藤宏, 櫻庭陽, 泉重樹, 池宗佐知子, 市川あゆ

み, 小堀孝浩, 堀紀子, 中野智子, 花岡裕吉, 藤田優子, 森山朝正. スポーツにおける M-test の有用性に関する検討 5 -コンディショニングに対する意識調査-. 第 57 回(社)全日本鍼灸学会学術大会 京都大会. 2008.6 京都

- 35) 櫻庭陽, 泉重樹, 近藤宏, 池宗佐知子, 市川あゆみ, 小堀孝浩, 堀紀子, 中野智子, 花岡裕吉, 藤田優子, 沢崎健太, 森山朝正. スポーツにおける M-test の有用性に関する検討 6 -合宿で疲労した大学硬式テニス選手を対象に-. 第 57 回(社)全日本鍼灸学会学術大会 京都大会. 2008.6 京都
- 36) 泉重樹, 櫻庭陽, 近藤宏, 池宗佐知子, 市川あゆみ, 小堀孝浩, 堀紀子, 中野智子, 花岡裕吉, 藤田優子, 沢崎健太, 森山朝正. M テストによる鍼治療がテニス選手のサービス動作に及ぼす影響 -スポーツにおける M テストの有用性に関する検討 7-. 第 57 回(社)全日本鍼灸学会学術大会 京都大会. 2008.6 京都
- 37) 堀紀子, 近藤宏, 津嘉山洋. 鍼灸臨床施設における Clinical Audit の試み()治療者に対するアンケート調査, 第 57 回(社)全日本鍼灸学会学術大会 京都大会. 2008.6 京都
- 38) 池宗佐知子, 櫻庭陽, 近藤宏, 市川あゆみ, 泉重樹, 小堀孝浩, 蝶間林利男, 森山朝正, 宮本俊和. M テストを用いた鍼治療が合宿中のテニス選手の粘膜免疫能に影響を及ぼすか?, 第 63 回日本体力医学会大会. 2008.9 大分
- 39) 近藤宏, 和田恒彦, 久島達也, 樋口敦, 泉重樹. 鍼灸師養成大学における視覚障害を有する鍼灸師を理解するための教育プログラムの効果について. 第 6 回日本鍼灸手技療法教育研究会. 2008.11 東京

講演

- 1) K.Aoyagi: Creatol and methylguanidine, oxidative products of creatinine is useful biomarker of oxidative stress in vitro and in human. HSSRC/AIST-NIEHS/NIH Joint International Symposium "Biomarkers of Oxidative Stress in Health and Diseases" January 16-19, 2008 Osaka Japan
- 2) 青柳一正: Oligonol の末梢循環に与える影響 オリゴノール研究会 2008.7.25 札幌
- 3) 青柳一正: 特別講演 酸化ストレスと疾 抗動脈硬化セミナー 2008.9.4 オークラフロンテア筑波